



友 愛

鴨池小学校
学校だより
令和6年2月発行

～鹿児島学習定着度調査結果報告編～

今回、令和6年1月に行われました「令和5年度鹿児島学習定着度調査（対象：5年）」の結果がまとまりましたので概要をお知らせいたします。

この調査は、5年生で学習した内容を中心に、4年生までの内容を含んで、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等に関する状況、学習に関する意識、学び方などを把握することを目的に行われました。

【学習に関する結果】

右のグラフが示すように、全ての教科において県の平均通過率を下回っています。特に、算数と理科は県の通過率との差が大きくなっています。

全体の傾向として、問題文を正しく読み取れないために、字数や条件を満たしていない場合や最後まで読まずに一部分だけで読み判断し解答する傾向もありました。また、各小問題がつながっているのに、1つを間違えると、その大問をすべて間違えていました。

（国語）「漢字の読み書き」「文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く」「目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、まとめて描くこと」「目的や意図に応じて、分類したりしながら、伝え合う内容を検討する」の問題の通過率が低かったです。

（社会）「土地利用の様子を読み取る」「資料から正しい情報を読み取る」「米の消費量の増大に向けた、国や市の取組の理由について説明する」「自動車工場の周辺に関連工場が多く立地しているよさについて説明する」の問題ができていませんでした。

（算数）「商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算する」「四角形の対角線の性質を正しく理解している」「複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や加法性を基に捉え、比べる」の通過率が低かったです。

（理科）「気づいたことや話し合ったことを基にした問題を見いだすことができる」「電気を通す物と磁石に引き付けられる物についての理解について」「モーターの回る様子と乾電池のつなぎ方とを関連付けて考えることができる」「雲の動きと天気の変化について理解している」「温度による解けた量の違いについて、予想したことに対する実験結果の見通しを適切に考察する」の通過率が低かったです。

【今後の取組として】

5年部や教科部ごとに、より詳しく分析を進め、通過率の低い内容については、学年ごとの系統性まで把握し、各学年の年間指導計画に明記し、指導の重点化を図っていきます。5年部では、問題のやり直しと解説を行い、しっかり復習を行い、再度問題に取り組ませます。

学校全体としては、基礎・基本の充実として、四則演算が正確にできるように反復練習を積み重ねていきます。社会科では資料の見方や比較についてまとめていきます。読み取る力については、国語を中心に指導していきます。実験や観察を行う理科では、予想を立ててから実験等を行い、結果を児童の言葉でまとめる授業を行うなど指導方法の改善を図ります。

さらに、個の実態を把握し、タブレットを活用した個別最適化学習など児童一人一人に応じた指導を進めていきます。

今後も、全学年の児童の学力向上のために指導を進めていきますので、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

各教科の平均通過率

